

次世代 IP アプリケーション向け 標準規格ベースのメディアサーバ

Cantata の SnowShore IP Media Server™ は、業界で著名なソフトウェアベースのキャリアグレード IP メディアサーバで、Red Hat Linux で動作する広範な業界標準ハードウェアプラットフォームに対応しています。SIP、VoiceXML、MSCMLの単純性、開放性、および柔軟性を活用し、低コストでスケーラブルな IP メディアサーバソリューションを提供し、3GPP/3GPP2 の規定する IP Multimedia Subsystem (IMS) ネットワークアーキテクチャを含む次世代の有線、無線、ブロードバンドネットワーク用の広範囲な音声・ビデオサービスを推進します。

Cantata は SIP ベースのメディアサーバを他に先駆けて開発し、業界初のソフトウェアベースの製品を提供しました。

高度に最適化されたキャリアグレードのアーキテクチャは、豊富なメディアを持つ次世代 IP サービスには理想的な選択肢となっています。単一の低コストサーバで新規サービスを試行する、あるいはスケーラブルなブレードサーバ技術を使って大規模なソリューションを導入する場合でも、フィールド実績を持つ SnowShore IP Media Server は低コストでフレキシブル、かつスケーラブルなソリューションでお客様のニーズを満たします。

特長と利点

高度な音声・ビデオ処理

SnowShore IP Media Server は、業界をリードする VoiceXML とコンテンツアクセスのスケラビリティを提供することで、革新的で収益性の高い音声・ビデオメッセージングの開発と導入を迅速に行なうことを可能にします。これにより、無線および有線キャリアは、加入者の端末機の条件に合った高品質な狭帯域「ナローバンド」と広帯域「ブロードバンド」アプリケーションを提供するために、より大きな柔軟性と幅広いアプリケーションの適用範囲を得ることができます。これはメッセージングアプリケーションにとって極めて重要なことです。

業界標準のサーバで稼働

高度なソフトウェアベースのメディアサーバアーキテクチャを有した SnowShore IP Media Server は、「ムーアの法則」に従った性能とスケラビリティの向上で、柔軟な展開を可能にします。このソフトウェアは、最適な柔軟性を提供します。個々の導入条件に最も適したプラットフォームを選択できるだけでなく、サービスニーズが時間の経過とともに変更するのに伴い、簡単にスケール変更できるため、キャリアは投資を将来に向けて保護することが可能です。

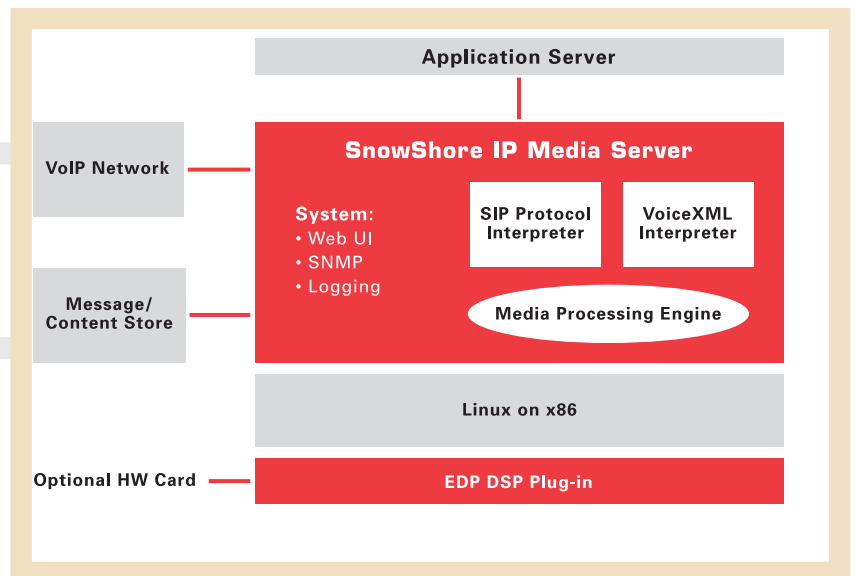
広範囲な業界標準ハードウェアプラットフォームによるサポート

対応するハードウェアプラットフォームには、Red Hat Linux で稼働する COT (commercial off the shelf: 一般商用)サーバ、NEBS 準拠のブレードサーバ、および AdvancedTCA プラットフォームなどがリストに挙げられます。お客様は 1台のサーバでサービストライアルを開始し、拡張に対応または冗長性を追加するための容量増加を単一の集中化された施設、あるいはネットワーク全体に分散した PoP (points of presence) で実行できます。

リッチマルチメディア処理

SnowShore IP Media Server はトランスコーディング、DTMF トーン検出、話者識別と検証、ビデオ再生と録音、およびコンファレンス(ミクシング)など、機能豊富なマルチメディア処理を提供するため、キャリアは最良のアプリケーションを使って次世代サービスを構築したり、独自のカスタムソリューションを開発できます。

(次頁に続く)



アプリケーションパートナーのエコシステム

実環境での導入という最も要求の厳しい環境において、テスト・実証されたCantata のアプリケーションパートナーのリストは、増え続けています。当社では、こうしたベストインクラスのアプリケーションパートナーと協力し、サービスプロバイダが音声・ビデオメッセージング、コンファレンス、IVR、IP セントレックス、プリペイドサービス、リングバックトーン、SMS、およびその他の次世代アプリケーションなどの拡張サービスを導入する際のリスクを軽減します。

インクリメンタルなサービスのロールアウトに対応

SnowShore IP Media Server のマルチサービスプラットフォームは、革新的な新規サービスを試行または導入する際のコストと時間を短縮します。

業界標準の SIP/XML インターフェース

SnowShore IP Media Server は SIP、VoiceXML、MSCML、NETANN および MRCP プロトコル、ウェブ標準を活用し、サービス速度を増加します。

キャリアグレード操作作用に設計

SnowShore IP Media Server のフレキシブルな標準ベースの設計は、業界標準のハードウェアプラットフォームとソフトウェアプロトコルを活用し、厳しい信頼性、性能、およびスケーラビリティ条件を満たします。

仕様

メディアとコーデック

- ・ RFC 2833 (DTMF)
- ・ G.711 μ -Law、A-Law
- ・ G.726 @ 32Kbps (DSP PCIカードが必要)
- ・ G.729AB (DSP PCIカードが必要)
- ・ H.263 (ビデオ) 56 ~ 200 kbps
- ・ .3GP ファイルコンテナ
- ・ AMR コンテンツコーデック
- ・ WAV
- ・ MS-GSM
- ・ HTTP/NFS

シグナリングと制御

- ・ SIP
- ・ SIP+MSCML
- ・ SIP+VoiceXML 2.0+
- ・ MRCP 1.0

セキュリティ

- ・ Secure Shell (SSH)
- ・ セキュアなロギング

容量

- ・ サーバ当たりの最大メディアセッション:
- ・ G.711 @20ms - 500 at 3.2 Ghz
- ・ G.726、G.729 - 200
- ・ H.263 - 50 at 2.4 Ghz
- ・ 7U ブレードサーバ構成で最大 7000 セッションまで拡張可能

システム管理

- ・ WEB UI
- ・ FTP
- ・ SNMPv2c /v3
- ・ Ethernet トレース (パケットキャプチャ付)

対応プラットフォーム

- ・ Intel ベースの Rackmount Servers、1U、および2U-NEBS 準拠
- ・ IBM eServer BladeCenter
- ・ HP Blade Server
- ・ Dell Poweredge Servers
- ・ Continuous Computing AdvanceTCA
- ・ Intel ATCA

インターフェース

- ・ メディアとシグナリング
- ・ 1000ベース -TX Ethernet (RJ-45) シグナリング(SIP)
- ・ 1000ベース -TX Ethernet (RJ-45) メディア(RTP)
- ・ RS -232C シリアルポート (RJ-45) コンソール

最小システム要件

- ・ Red Hat Enterprise Server 4.0 アップデート 3
- ・ Intel Dual Xeon 2.84 GHz 以上
- ・ 2GB RAM の最小メモリ
- ・ 36GB HD の最小容量
- ・ デュアル 1000 ベース -TX Ethernet (RJ-45)

www.cantata.com

カンタータ・ジャパン・インク
〒102-0082
東京都千代田区一番町10-2
一番町Mビル2F
電話: 050-5515-8338
Fax: 03-3234-2178

Cantata Technology は Brooktrout Technology と Excel Switching Corporation の合併の末、2006 年に設立された会社で、いつでもどこからでも使用できる IP ベースの通信アプリケーションの基盤の役割を果たす、市場実績に裏打ちされた技術を提供しています。Cantataは20年以上の経験を活かし、最も広範囲な製品群を提供するだけでなく、サービス プロバイダーとエンタープライズ カスタマーが新製品を開発、新サービスを導入、IP への低コストなネットワークに移行できる世界中のパートナーを有しています。Cantata Technologyは北米、アジア、およびヨーロッパにおいて複数の拠点を構えています。

© 2006 Cantata Technology, Inc. All rights reserved. Cantata Technology および Cantata Technology のロゴは Cantata Technology, Inc. の商標です。その他の商標はすべて、それらを所有する各社に帰属します。仕様は変更になる場合があります。

2/06 CTSS IPMS



cantata
TECHNOLOGY